



# 在宅医療相談室だより

発行：瀬谷区在宅医療相談室 〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸1-36-1 ☎ 045-520-3122

ごあいさつ

早いもので年が明けたと思ったら、すでに3か月、あちこちで梅が白い花をほころばせています。

今年の冬はインフルエンザも大流行して、各事業所や施設も対応に追われていたのではないのでしょうか？横浜市での在宅医療相談室は、医師会の訪問看護ステーションに併設されたことで、各区にすべて設置することができ、少しずつですが横浜市内では周知されてきているようです。瀬谷区医師会の相談室は、瀬谷区役所や訪問看護連絡会、主マネ会やケアマネットとの協働で、今後も地域の現場で頑張る人や、区民の皆様に向けて、お役立ち情報の提供や、専門的な勉強会、さらに連携の強化に向けての研修などを企画してまいります。今後とも、皆様にご利用いただける相談室でありたいと思っております。



## 相談室の活用方法

例えば…

その①ケアマネさんが訪問したら、利用者さんのご様子がおかしい。

往診も訪問看護も入っていないし、家族も不在。救急車呼んだ方がいいのかしら???

その②利用者さんが腰の激痛で病院に行ったら、圧迫骨折だけどベットがないからと、座薬を持たされ帰ってきた。でも、独居だし寝たきりで食事もトイレもままならない。どこかに入院させてほしい！

その③利用者さんの隣の人が、寝たきりになっていて、かなり苦しそう。病院を嫌がっているけれど、このままじゃ死んじゃいそう。一度様子を見て説得してほしい。

こんな時にはご相談ください。

一緒に訪問して、ご様子を見たり、受け入れのできる病院をご紹介します。



## 平成28年度後半活動報告

平成28年11月24日(木) 18:00~20:00

瀬谷区役所 5階会議室ABにて、「認知症を支える多職種連携」をテーマに、多職種交流会せやまるカフェを開催しました。瀬谷区高齢者サポートネットワークとの協働で、今回は近隣の精神科病院の相談員を招き、それぞれの病院の取り組みと連携の実際をお聞きました。また、講師として瀬谷区医師会川口会長より「瀬谷区での認知症を支える連携の仕組み」の演題でお話をお願いしました。100名近い参加があり、グループワークでは床に座って意見の交換が積極的に行われました。「もっと時間が欲しかった。」「顔の見える関係が作れた。」など、うれしいご意見を頂きました。横浜ほうゆう病院、神奈川病院、あさひの丘病院、横浜相原病院の皆様、ありがとうございました。





綱島先生



歯科の先生も、たくさん来てくれました！

平成28年12月9日(金) 18:30~20:30

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 3階講堂において第14回瀬谷区医療・福祉セミナーが開催されました。地域の訪問看護ステーション、瀬谷ケアマネット、瀬谷区福祉保健センター高齡障害課、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院総合相談部ホームケア係、瀬谷区在宅医療相談室との協働による医療・福祉セミナーも今年で14回目となり、参加者は120人を超えました。今回のテーマは「QOLの向上につながる胃瘻造設について考える」ということで、胃瘻造設をめぐるメリット、デメリットを考えながら、やがて「食べる」ということの重要性に焦点を絞る内容でした。このため、講師に瀬谷区歯科医師会より綱島歯科医院の綱島裕之先生をお招きして、歯科医師会での嚥下の取り組みについて御講演頂きました。また、協賛として明治(株)とクリニコ(株)より、嚥下食のサンプル配布もお願いしました。事例を通して、グループワークでは、嚥下が困難になった時に胃瘻をどう考えるのか、自己決定をどう支援するのか、嚥下をさらに支援するのかなどについて、積極的に意見が交わされました。地域として、嚥下を考える良いきっかけとなりました。また、歯科医師会での訪問診療の手順も周知できる機会となりました。

### 今後の予定

28年度今期最後の活動は、3月23日 13:30より開催予定の「あく手の会」主催「隣の介護を見に行こう！」です。日々ご家族の介護で悩んだりご苦勞の絶えない介護者同士が、お互いの介護を知り、ほっとしたり共感したりしながら、支えあいがあったらいいなと思っています。医師会の協賛で、今回は瀬谷区医師会長であり認知症サポート医でもある瀬谷医院川口浩人医師においていただき、専門的な立場からのお話も聞けるとおもいます。

### 介護職向け

### けあのおつぼ

<お尻だって洗ってほしい>というお話。

介護の現場でよく出会うのですが、おむつ交換はちゃんとしているのに、なぜか臭う、なぜか赤くなる、何故かきれいじゃない…。これって、お尻を洗っていないケースがほとんどです。昔のCM「お尻だって洗ってほしい。」っていうフレーズがありました。おむつの人は本当に洗ってほしいのです。1日1回、うんちの時にはその都度。ペットボトルに穴をあけて、人肌のお湯と泡だてたソープで、優しくきれいに、皺の中まで洗ってお湯できれいに流してくださいね。ちなみに、泡は一旦ティッシュでふき取ると、少ないお湯でもきれいになります。『拭いてます。』だけでは、臭いや汚れが落ちないだけではなく、拭くことで刺激にもなります。カンジタがある場合は、拭くことで消しゴムのカスみたいなものがポロポロこぼれて、真っ赤になることもありますので、注意してくださいね。



寒い寒いと思っていたら、足元に青い小花が咲いていたりします。もうすぐ、冬も終わりですね。毎日がアツという間に過ぎていきます。今介護をしている立場でも、あつという間にされる側になる日が来るのだと、時々実感します。春は名のみ、瀬谷の雲をお届けします。

瀬谷区在宅医療相談室 編集 大嶽 朋子